

文化博物館だよりNo.68

みなさん、こんにちは。

春のような青空なのに、冷たい風が吹き、おまけに雪まで降ってきた週末でした。週明けの月曜日からは暖かな日が続くといいですね。中学校の卒業式が終わり、公立高校入試ももうすぐ。小学校の卒業式ももうすぐで、別れと出会いの季節になりました。

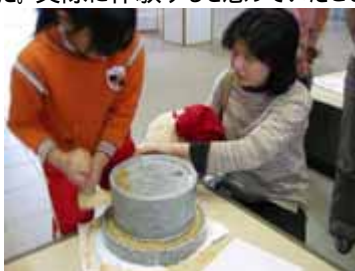
1. ごろり、ごろり、石臼の音ときな粉の香り

3月12日(土)13:00から博物館ロビーで「石臼を回してみよう」の体験教室が開かれました。

3つの石臼を用意し、参加した子どもや保護者の方々が次々と石臼で大豆をひき、いい香りのする「きな粉」ができました。石臼の大きさと重さによって大豆のひき具合が異なり、荒引きになったり、細かくなったりしましたが、みんな楽しく石臼体験を楽しみました。実際に体験すると思っていたこととの違いがよくわかります。



あぐらをかいて本格的に
で？



お母さんといっしょに



ボランティアさんも昔とった杵柄

「本で見たことがある。」「なつかしいな。」「いい香りですね。」「おいしいー。」という感想があり、手を使い、鼻と口で味わう体験は貴重なものだと感じた時間でした。1人65グラム大豆をひいてもらったのですが、出来上がった「きな粉」の量はけっこうたくさんありました。お店で売っている袋入りのものとは、ひと味もふた味も違う手作りの良さがわかりました。

2. 暮らしの移り変わり展をひらこう(附属明石小学校3・4年生)

3月10日(木)11日(金)の二日間、附属明石小学校の3・4年生が昔の生活用具を調べるために、「暮らしのうつりかわり展」でボランティアをされている方々に取材調査をしました。自分たち、父さん母さん、そしておじいさんおばあさんの三世代に渡る「生活用具と時代の移り変わり」を調べていこうというねらいです。昨年も実施した授業でしたが、今年の小学生たちは「下調べ」を十分に行い、自分たちのまとめた資料や家から持ってきた資料をボランティアの方々に見せながら、しっかりとした内容の質問をしていました。詳しく調べてある資料にボランティアの方々も「すごいな」と感心しておられました。



となりのトトロにあったよー



昔のお金と価値は？



じっくりと話を聞きます



電車の写真で説明



体験もしました

この後の展開は、調べたものを学校で全校生に展示公開する予定になっています。

3. 暮らしのうつりかわり展 観覧者数10,000人を突破！

3月11日(金)に観覧者数が10,000人を突破(13日までで10,319人)しました。小学校の団体観覧もあと1校残っているのですが、今年も多くの方々に観覧していただきました。触れる展示、ボランティアによる展示の解説と昔あそびの体験支援、そして大人気の紙芝居、それぞれのコーナーで好評なアンケートが各学校から続々と届いています。展示期間は3月21日(祝・月)までとなっております。この機会にぜひご観覧下さい。

紙芝居の上演は3月13日(日)で終了しました。

3月14日(月)休館日・3月14日(火)館内整理日で休館です。

明石市立文化博物館

編集:永田浩史